



集合研修(第2回) 1日目(H25.1.24)

①
准フォレスター研修の仕上げとなる集合研修、今年度第2回目のスタートです。

全国の都道府県、森林管理署等から総勢36名の受講者が集まり開講式。

林野庁古久保森林整備部長の開講挨拶、小島施工企画調整室長の研修説明に続き、プロセスマネージャーの西氏による研修目標の共有とアイスブレイクを兼ねたオリエンテーションが行われます。



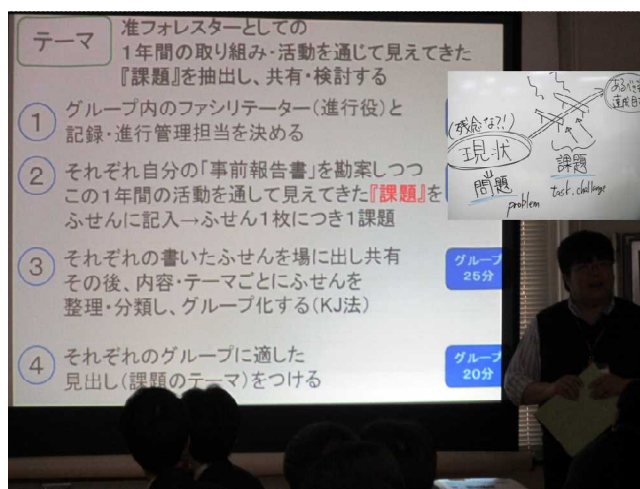
②
カリキュラムのはじめは、昨年度の研修修了者が准フォレスターとして地域で行ってきた取り組み、成果や見てきた課題等を共有することを狙いとした活動報告です。

お一人目は、青森県東青地域県民局 吉岡昭浩氏より、「マネジメントによる森林・林業再生プラン推進」をテーマに、自立した森林組合を目指し、森林経営計画の作成に向けて“マネジメント”の手法を導入した事例が報告されました。



③
続いて、お二人目。

宮崎森林管理署 都城支署 桑原英隆氏からは、「フォレスター活動について～踏み出す一歩とやる気・行動力～」と題して、自らが中心となって取り組んだ“准フォレスター等活動促進連絡協議会”の発足の経緯や活動内容、今後の展望等について報告されました。



④
引き続き、この研修の大半を占めるワークショップに入っていきます。

一連のワークショップを通じて、准フォレスターとして活動する中で見えてきた課題を整理・共有してテーマを絞り込み、現状(問題)に対する実現可能で具体的な解決策を見出していこうとするものです。まずは、取り組み・活動を通して見えてきた『課題』を抽出し、班内で整理して共有・検討する作業から始めます。



⑤
各班ごとに、これまでの活動を踏まえて見えてきた現状(問題)とそれらを解決するには何が必要か(課題)を洗い出し、付箋に書いて出し合います。

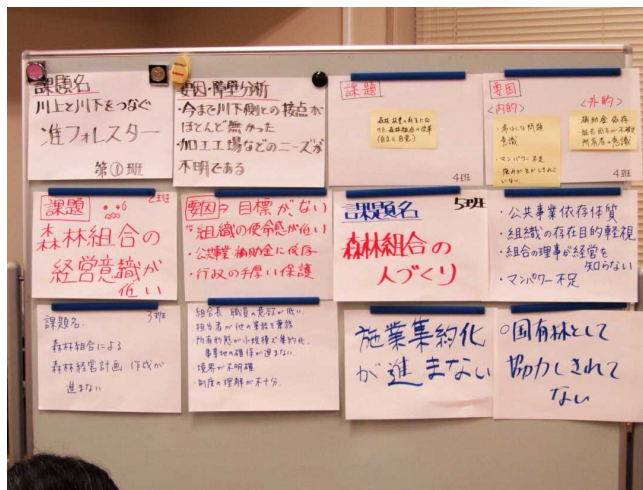
その後、系統別にグループ分けをして整理していくというKJ法を用いた、ワークショップです。

班内には、全国各地からの参加者が混在するため、地域性が見られたり逆に共通項があったりという発見も勉強になるようです。



⑥
一日目の取りまとめ状況を発表しているところです。

ワークショップで検討した中から「最優先課題」を抽出し、その背景にある問題を深掘りした内容を、それぞれA4の紙1枚ずつに整理してKP法(紙芝居プレゼンテーション法)により発表されました。



研修2日目(H25.1.25)

①

2日目。
各班が初日に取りまとめた「最優先課題」とその背景にある要因(問題)の写真です。

今日の作業は、これらに対する解決策をみんなで考えて整理していくことです。

1日目と同様にKJ法を用いて、自分たちが地元に戻ってすぐにとりかかれること、を念頭に策を出していきます。

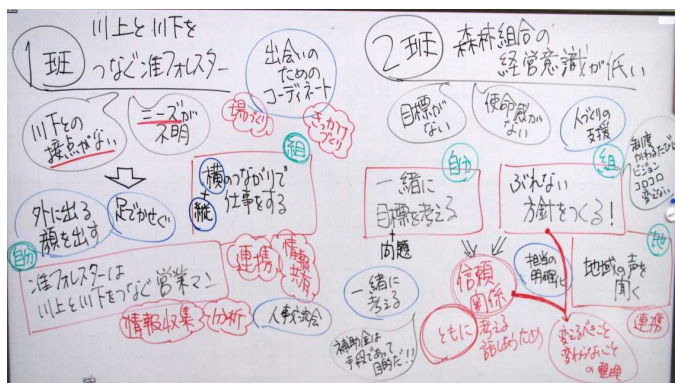


②

午前中のまとめとして、ここまで検討してきた「課題と解決策」を各班から発表します。

全体で共有し、さらに発表班以外の受講者から発表班に対して、気づいた点やアドバイスなどをフィードバックシートに記入し、発表班に渡して共有するという作業も行いました。

他者からの意見やアドバイスをもとに、さらに解決策の見直しや改善を図るためのプロセスです。



③

午前中の発表に対する質疑やフィードバックコメントをもとに、午後からの45分間各班ごとにもう一度、課題の検証や解決策の練り直しを行いました。

そして最終的な解決策として、「個人で取り組むこと」「組織で取り組むこと」「地域で取り組むこと」に分けた切り口からA4用紙3枚～5枚に簡潔に整理し、最後の発表は3グループに分かれてプレゼン質疑・意見をやり取りする形で行いました。



④

ワークショップの仕上げとして、3グループに分かれて行った発表・討議を踏まえて気づいたことや、考え直した点などについて各班代表1名により報告が行われました。

最終的な課題と解決策を、全体で共有することにより今後に向けた参考として各人が持ち帰り、地域で活かされることが期待されます。



⑤

一連のワークショップと、この二日間全体を通しての講評と今後に向けたアドバイス等、林野庁の小原講師、小島講師よりコメントが送られました。

併せてプロセスマネージャー西氏からは、ワークショップの進め方やプレゼンテーション技術も含めた、合意形成手法等についての総括的なコメントがありました。



⑥

2日間があつという間に終了です。

最後に林野庁 徳丸研究・保全課長による閉講挨拶と代表者への修了証書授与式を行い集合研修全てのカリキュラムを終えました。

これをもって、長きにわたった准フォレスター研修もすべて完了となります。受講者の皆様、大変お疲れ様でした！ 今後のご活躍をお祈り申し上げます。